

9月議会 一般質問（加藤鉦一議員）

福祉灯油の制度化を

市当局「臨時的に実施、制度化の考えない」

5日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の加藤鉦一議員は、①福祉灯油の制度化、②旧東田川郡役所及び郡会議事堂についてを取り上げました。

福祉灯油の制度化で、高齢者・生活困窮世帯に冬期間灯油購入助成を



価格は少しずつは値上がりはしているものの、福祉灯油を実施した平成19、20年度のように価格が急騰するまでには至らず、ある程度予想される範囲内の値上がりである。

問 これからまた厳しい冬を迎えるが、灯油価格は1リットルあたり100円を超え高止まりしている。

10年前は40円台だったので、高齢者や生活困窮者が「灯油代が高くてやっていけない」と訴えている。

今年には年金の切り下げや消費税増税でいっそう暮らし困難が拡大している。

福祉灯油の制度化で、高齢者世帯や生活困窮世帯に冬期間、灯油購入助成を実現できないか。

価格急騰対策として臨時的に実施、制度化の考えない

健康福祉部長 昨年12月の定例会、本年3月の定例会で実施の有無に関して質問があり、いずれも実施をしない考えであると答えた。

理由は第一に、灯油

事情として扶助費が増加しており、現行のサービスマン標準を維持していくためには、実施事業の選択をしなければならぬ。

福祉灯油は、灯油等価格の急騰への激変緩和対策として単年度で臨時的に実施した事業であり、通常事業として福祉灯油を制度化することは考えていない。

市長「国が行うべき」

問 生活困窮者の暮らしの実態と灯油価格の高止まりの現実から判断すべきだ。

市長 基本的には国が行うべきであり、機会があれば国に申し上げていく。

旧東田川郡役所を国指定有形文化財に格上げ諮れないか

問 文化庁が今年3月に発行した「近代遺跡調査報告書」で、全国の郡政から3つ選ばれ、そのうちの1つが旧東田川郡役所及び郡会議事堂で、特に巻頭写真として掲載され評価が高まっている。

旧東田川郡役所と郡会議事堂を県指定の有形文化財から国指定に格上げを諮れないか。

国の調査に協力、情報等の提供に努める

教育部長 現在の郡役

所の建物は、明治19年の火災により消失した後、明治20年に新築されたものである。

郡制が廃止された大正15年まで郡役所としての役割を果たし、その後、郡の農会の事務室として使用され、昭和18年から現在の藤島庁舎が新築される昭和59年まで藤島町役場として使用されてきた。

<p>建築課入札結果（ ）内は予定価格 9月30日入札分</p> <ul style="list-style-type: none"> 鶴岡市文化会館改築工事 竹中工務店・菅原建設・鈴木工務店特定建設工事共同企業体 7,300,000,000円（7,302,040,000円） 工期～29/8/31（落札率100.0%）
<p>農山漁村振興課入札結果（ ）内は予定価格 9月25日入札分</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度林道川舟線災害復旧工事（少連寺地内） 中止
<p>土木課入札結果（ ）内は予定価格 9月25日入札分</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道馬町茨新田線道路改良工事（下川地内） 菅原建設（株）67,500,000円（69,557,000円） 工期～27/3/30（落札率97.0%）

東田川郡会議事堂は、大正4年に発刊された「庄内案内記」に明治36年に改築されたと記載がある。

昭和59年に現在の藤島庁舎が新築されるまで藤島町の議会事務局、教育委員会事務局等で使用されてきた。

2つの建物は、昭和60年に藤島町の有形文化財に、昭和63年に県の有形文化財に指定され、平成元年から7年度まで県の補助を受けながら解体保存修理が行われた。

平成8年に、隣接する東田川電気事業組合倉庫を含めて東田川文化記念館として開館し、多くの方々に利用

されている。

「近代遺跡調査報告書」には、「建築当時の場所に移築されずに現存しているのは県内で唯一のものであり、建造物としての文化的価値のみならず歴史を語る史跡として大変意義がある」と記載されている。

国の文化財指定については、文化審議会の答申において指定されるものであり、市としては郡制時代の東田川郡の歴史を含め、建造物の歴史とその価値について掘り起こしに努め、国の調査に積極的に関与し、情報等の提供に努めていきたい。



県指定有形文化財となっている旧東田川郡役所（上）と旧東田川郡会議事堂（下）